
世田谷区スポーツ推進計画素案に対する 区民意見募集の概要について



目次

- (1)実施概要.....P2
- (2)意見概要.....P3~7

(1)実施概要

次期世田谷区スポーツ推進計画(素案)について、内容を区民の皆様へお知らせするとともに、広くご意見・ご提案をいただき、次期計画の策定に生かすため、区民意見募集を実施しました。

〈区民意見募集の実施概要〉

募集期間	意見を提出できる方	意見を提出 いただいた人数
令和5年9月15日(金)から 10月6日(金)まで	次のいずれかに該当する方 1. 区内在住・在勤・在学者 2. 区内に事務所や事業所を有する個人・法人・団体 3. その他「次期世田谷区スポーツ推進計画(素案)」に 利害関係を有する個人・団体	40名

【区民意見募集方法】

①区より無作為抽出し送付

→区内に居住の18歳以上の方の中から無作為に抽出した500名に郵送し、返信用ハガキにて提出

②区ホームページ、郵送、FAX、持参のいずれかの方法により提出

【注意事項】

※意見に対する検討結果等は、令和6年2月にホームページ等で公表する予定です。

※1人の意見に対して複数のテーマがある場合は、内容をテーマごとに整理して掲載しています。

※類似した意見は、内容ごとに整理して掲載しています。

(2)意見概要

テーマ①:身近な運動機会

番号	意見概要	対応状況(※)
1	ラジオ体操を通じて交流も生まれ、特に高齢者には効果が期待できるので、区でリーダー育成をサポートしてはどうか。	
2	ラジオ体操のように高齢者が気軽に参加でき、身近な場所でいつでも体を動かせる機会が重要ではないか。	◎
3	一般のスポーツジム等に気軽に通えるよう、補助金や利用券などの制度があるとよい。	
4	スポーツ振興財団の子ども向けスポーツ教室を利用しているが、共働き家庭でも利用しやすいように、週末にも通年・短期教室を開講してほしい。	○
5	年齢別での施策ではなく、大人と子どもが一緒に取り組めるような、身近な単位での取り組みが必要ではないか。	◎
6	スポーツを始めたい・継続したいと思った時に「いつでも・だれでも」の理念の沿うように、身近な場所で気軽にスポーツや運動に取り組める環境づくりが必要である。(ウォーキングができる環境やラジオ体操、太極拳などのプログラムが提供されるとよい。)	◎
7	楽しく継続できることがスポーツや運動に親しむ良いきっかけになる。	◎

※ ◎…計画に反映されているもの

○…計画には記載がないが、区としてすでに取り組んでいるもの

(2)意見概要

テーマ②:スポーツ環境整備

番号	意見概要	対応状況(※)
8	基本理念・スポーツの定義・範囲に賛成するが、現在のスポーツ実施環境とは乖離を感じる。例えば、空き地などを「身近な公共空間」として整備利用するなど、身近な地域に新たなスポーツの「定義」を実感できる環境の充実を進めてほしい。	◎
9	身近な小さな公園でのボール使用禁止などの厳しいルールが、スポーツの推進を阻害している一つの原因ではないか。子ども達が自由にスポーツ出来る環境を整えて頂きたい。	
10	子ども達が安心して遊べて、安全に使える公園を整備することによって、子育て世帯にとっても子どもの健全な発育を見込める地域になるのではないか。	
11	駒沢・世田谷公園以外にもランニング・ジョギングコースの整備を検討してほしい。	◎
12	土日も含めた学校プールの一般開放や、プールの新設を進めてほしい。また、子どもを対象とした通年開催のスイミングスクールを区主体で実施してほしい。	○
13	施設の一般開放を平日夜間や休日を含めて拡充してほしい。	
14	居住地の近くにスポーツ施設があれば気軽に参加できる	
15	区運営のジムの設置を検討してほしい。	○
16	年齢に関係なく、たくさんの人達が自分に合った無理のない運動ができるような場所があるとありがたい。	◎
17	他自治体と連携した施設利用を推進してほしい。	

※ ◎…計画に反映されているもの

○…計画には記載がないが、区としてすでに取り組んでいるもの

(2)意見概要

テーマ②:スポーツ環境整備

番号	意見概要	対応状況(※)
18	スポーツ施設を増設・拡充するのであれば、それに見合ったスポーツ実施率の向上に積極的に取り組んでほしい。	
19	スポーツに親しむきっかけとして、幼少期にスポーツに取り組んだ経験が何より重要であり、子どもたちが気軽に参加できるスポーツ講座を拡充してほしい。また、働き盛りの世代に対しては日常生活の中でのウォーキングの推進、高齢者に対しては地区ごとのスポーツイベントの開催を実施してはどうか。	◎
20	スポーツ自体の推進も大事であるが、日常に運動を取り込みやすい環境の整備も重要である。	◎
21	「スポーツとしての自転車」の基礎操作を学び、練習できる場や指導者が必要である。	
22	スポーツ施設・拠点へのアクセスとして自転車利用が多いことから自転車の安全対策が必要であるが、子どもから大人までが自転車で安全に走行するための指導の受講及び練習ができる区有施設がない。	
23	稲城市の東京ジャイアンツタウンの開設にあわせ、東京ドーム・ジャイアンツタウンに京王線で直行でアクセスできるようにすべき。また、読売ジャイアンツと包括的な提携を結んで野球等の振興を行ってはどうか。	
24	ペットと人が一緒にスポーツを楽しめるような環境(雨天でも利用できる、空調設備がある)を整備してほしい。	
25	バスケットゴールや卓球台など、色々なスポーツを出来るよう器具を設置し、オンライン予約ができるようにしてほしい。	○
26	熱中症対策に配慮したスポーツ施設の改善を図ってほしい。	◎

※ ◎…計画に反映されているもの

○…計画には記載がないが、区としてすでに取り組んでいるもの

(2)意見概要

テーマ③: 共生社会の実現

番号	意見概要	対応状況(※)
27	スポーツを通じた福祉社会の実現のためには、健康を目的とするだけではなく、障害者も含めた平等の美学に基づいて、共生社会を構築する精神が不可欠である。	◎
28	行政施設の多言語化や、外国人も参加できるプログラムの開催を進めるべき。	◎
29	スポーツ仲間を作れる環境づくり進め、スポーツ以外での新たな交流も生まれると継続しやすいのではないか。	◎
30	子どものスポーツ活動は、身体を鍛えるだけでなく仲間との繋がりを深めることができる貴重な体験のため、運動が得意な子・不得意な子も一緒に参加できるイベントがあると良い。	◎

※ ◎…計画に反映されているもの

○…計画には記載がないが、区としてすでに取り組んでいるもの

(2)意見概要

テーマ④:その他

番号	意見概要	対応状況(※)
31	週に一度参加している体操プログラムの空き状況がわからないので、自動予約機などで当日の体操の申込ができればよい。	
32	運動をすることで、世田谷区で使えるポイントが付与されるなどの仕組みがあると、個人のスポーツや運動のモチベーションとなり、普段運動しない人でも運動してみようと思えるのではないか。	◎
33	学校、幼稚園、保育園のカリキュラムに、特に高齢者などの大人が日常的に参加するための取組みや、取り組んだことによる関係機関へのポイント付与が必要である。	
34	体育施設等において、無料で試合観戦ができるプログラムがあると参加しやすいのではないか。	◎
35	運動参加後の入浴などが楽しめる企画が必要ではないか。	
36	パリ五輪で新しく採用されたブレイクダンスなど、新しいスポーツに触れることができるイベントがあると良い。	
37	学校の体育施設の区民利用を進めると同時に、教員が施設管理を行わずに済む体制を整えてはどうか。(日常業務の自動化、非日常業務・人による業務は区の営繕部門による対応や外部委託)	
38	子どものスポーツ教室について練習や指導の実態を把握し、指導者に過度な負担が生じないようにルールを設ける必要があるのではないか。	
39	基本目標の前提となる背景・課題の情報が過多である。領域ごとの目指すところが簡潔に示された方がよい。	
40	施策の実施の順番を検討するために、予算投入のロードマップを明記して施策の優先順位をはっきりさせる必要がある。	

※ ◎…計画に反映されているもの

○…計画には記載がないが、区としてすでに取り組んでいるもの